

未来

郵政産業ユニオン
PIWU

全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4583
25年9月30日(火)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

長崎県労連 第38回定期大会

おはようございます。
9月も今日で終わりますが、まだまだ暑い日が続いています。昨年はこの時期には、ウォーターサーバーによる飲料水の提供が終了していましたが、今年はまだ提供ができています。外務社員には、水分補給が重要ですので長期間の提供をお願いしたいものです。

9月20日(土) 長崎県勤労福祉会館4階大会議室において「長崎県労連第38回定期大会」が開催され、支部からも山田支部長が代議員として出席しました。

大会は山岸県労連副議長の開会挨拶からスタートし、大会議長には医労連の中村代議員、建交労連の飯田代議員が選出されました。
議長挨拶は、鳥巣県労連議長が体調不良で欠席

のため、大石副議長が議長挨拶を代読しました。続いての来賓あいさつでは全労連より清岡副議長が挨拶を行いました。



また、5月8日に和解という形で終結した「協和商工過労自死裁判」の原告からも裁判支援への御礼の挨拶がありました。祝電、メッセージ披露各委員会報告と続き、議事に移りました。馬場事務局次長が議案の提案を行い、休憩を挟み質疑討論へと移っていきましました。質疑討論では、各組合から活発な意見が出されました。発言を一部紹介します。

○ラフコープ労組
25春闘ではストライキを見据えた運動を展開し、半日ストライキを実施

施した。成果は上がらなかったが、次年度に繋がるストライキとなった。最賃のたまたかいかいでは、意見書を提出し、意見陳述を行った。

○高教組

コロナ禍の影響もあり、執行役員会なども欠席者が多く、組合活動が停滞していた。

互いに協力して会議をいかにつくるのか議論する中で昨年度より前進がみられるようになり、組合への加入も増えている。

○自治労連

年金の物価スライドにより、受給額が少し上がったが、中には非課税枠から課税対象枠になり、逆に負担が増える年金受給者がいる。このような年金受給者が市役所の窓口相談に来るようになった。

○郵政ユニオン

最賃のたまたかいを報告し、8月5日意見書を提出し、8月13日の第2回長崎地方最低賃金審議会にて佐田執行委員が労働者

側の代表参考人として意見陳述を行った。陳述では、目安通り64円の引き上げだと、郵政最賃は60円しか上がらない。あと14円長崎県が独自に14円上乗せしたら、郵政最賃は80円上がる事を強く訴えました。審議会では、我々の訴えた金額と同額の78円を引き上げる答申が出され、支部としては意見陳述を行った甲斐があった」と発言しました。

また、不適切点呼問題での職場の状況もあわせて発言しました。



休憩を挟み県労連幹事会がまとめた答弁を行いました。

○まとめの答弁

今大会の発言者は11人で女性の参加率は50人中12人の24%となり、3割には届かなかった。

発言にあつた組織拡大については、数は力になるので、積極的に取り組んでいきたい。医療、介護の現場の大幅賃上げのキャンペーンにも取り組む、と答弁がありました。



その後、議案の採決では、第1号議案、第2号議案共に満場一致で採択されました。

続く役員選挙では全員が信任され、新旧役員挨拶では、今期で退任される自交総連の松永幹事が「組織拡大をぜひ頑張っていたきたい」と述べました。

議事が全て終了し、議長長退任のあとは、溝口県労連副議長が閉会挨拶を行い、最後は新しく議長となった山岸議長の開会挨拶で締めくくりました。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望を尊重する正社員化を。めざせ、均等待遇。なんでも差別！ ユニオンは労働法裁判に勝利を収めました！

